

# 東京同友会文京支部 2009 年度第 11 回 3 月幹事会

開催日：3月2日(火)18:30～21:00 会場：東京同友会会議室

参加者 田川 奥長 新井 江口 森下 飯塚 越川 山形 佐久間 平岩 山本 機谷 石渡 小池@事務局(計14名順不同・敬称略)

報告事項 **18:30～19:00** 司会：越川

## 1. 会勢 前回幹事会～9/29 現在

文京支部 67 名 今年度期首 69 名

東京同友会 2083名(期首2075名)

(山形氏 3月末退会)

## 2. 各部会/同好会報告

理事会・委員会・協議会関係

- ・ 理事会報告 …… ※資料1
- ・ 教育委員会 同友会大学開催
- ・ 経営労働委員会 指針成文化セミナー
- ・ 西部協関係…
  - ・ 合同支部総会について ※資料2

■ 日時：4/26 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター（経営研究集会のプレを兼ねる）

■ タイムスケジュール 17:30～18:15（各支部総会議事）18:30～18:45（西部協議会総会）

18:45～20:15 総会記念講演 20:30～22:00（懇親会）

■ 費用分担 文京支部5万円（西部協、新宿、渋谷10万 文京、中野、杉並5万円）

■ 参加費 記念講演 西部協議会会員は無料 その他は2000円 懇親会費別途3000円

■ 講師 石川勝美氏（石川遼の父）

■ テーマ：後継者育成 人育て

■ タイトル 「マスターズトーナメント出場 親子の夢は、今、世界の舞台へ」

■ 田川支部長より、幹事の皆様には特に積極的な参加をお願いしますとの発言がありました。

- ・ 第18回経営研究集会について ※資料3

■ 実行委員長 宇佐見弘氏

■ スローガン「ピンチはチャンス！打つ手は無限！われらは日本の元気の牽引役」

■ 日時：10月6日(水) 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

■ 記念講演の企画、西部協議会担当分科会の企画を次回ごろまでに提出

- ・ その他

政策部・憲章推進本部・文京台東中央区支部共催例会 2月17日

「中山義活講演会」

支部長会 2月23日 ※資料4

支部内委員会・部会及び企画の報告

- ・ 拡大幹事会報告
- ・ 例会委員会 2/18 ※例会報告書
- ・ くらしと産業

- ・ 組織部 お邪魔しますの会  
おじゃましますの会。キクミさん 2/19 (参加：田川・奥長・小池@事務局)  
文京支部 経営指針セミナー(越川氏)... 3/8
- ・ 政策部
- ・ 経営指針研究会 2月8日(月) 報告者 佐久間和男氏 会場 新協印刷会議室  
6名参加
- ・ 気軽なランチの会...※報告  
7名参加
- ・ ゴルフ交流会 ※案内  
3/31 7:30～
- ・ 卓球大会について ※ 資料 企画書  
3/5 参加状況 卓球 16名 懇親会 12名
- ・ その他  
文京区アンテナスポット展示について  
会場：シビックセンター1F 支部会員企業紹介を実施 期間 2/2～4  
来場者 101名 (2/2 11名 2/3 30名 2/4 60名)

### 討議事項 19:00～20:30

#### 1. 支部総会について

a) 総会の企画進行について (※別紙資料 前年度総会議事)

会場: 文京シビックセンター 3F 会議室1

(会場費7200円 使用時間 17:30～22:00)

#### ■ 議事進行について

今年度の総会では総会議案を徹底論議することが前回幹事会で承認されたのをうけ、当日スケジュールを議論、左記のように決まりました。

17:30	集合・準備
18:00	受付開始
18:30	開会 司会 飯塚氏 議長選出 議長 佐久間(俊) 来賓紹介 来賓代表挨拶 東京同友会理事会 区産連 議事
18:45	2009年度活動報告・2010年度活動方針 (田川支部長) 2009年度会計報告 2010年度予算案提起 2010年度会計監査報告 2010年度支部役員の検討 役員選考委員会より
19:10	全体討論(議題: 文京支部活動方針について)
19:40	各部委員会 活動報告・活動方針 組織部 広報部 経営指針成文化セミナー(経営理念検討会) 政策部 例会委員会 くらしと産業 (新設: 青年・女性部 方針のみ)
20:10	全体討論(議題: 各部委員会の方針について)
20:40	採択 議長退任 支部長退任挨拶 新支部長挨拶 総会閉会挨拶
20:45	会場の現状復帰 懇親会会場へ移動
21:00	懇親会開始 司会: 機谷

b)今年度の活動総括および次年度の方針について ※別冊資料 総会議案2次案

■変更点は以下のとおりです。

■その他若干の修正を加え、総会議案として事前に配布することが承認されました。

・活動報告

段落の校正

文京区アンテナスポット出展の報告を追加

・活動方針案

東京同友会の方針を具体化するためのキーワードの設定 地域、若手、憲章

4つの重点課題

1-①「各部委員会の連携した例会づくり」を改めて明文化

1-②「組織部の活動を通じ、知り合い、学び合う」を追加

2-②「東京同友会経営指針セミナーへの積極的な参加」を追加

3 「文京区で頼りにされる同友会」を追加

3-①～④を追加

4 増強目標 100名の期日（3年後）を設定

4-①「女性部・青年部（仮称）を設置する」を追加

・組織部活動報告

近日開催された（る）企画の報告の追加

・組織部活動方針案

項目の取捨選択をおこなうこと

・例会委員会活動報告・方針案

「気軽なランチの会」の活動報告と次年度方針を追加

・広報部

MLの更新を行うことを追記

・経営指針成文化セミナー、経営理念検討会

年間スケジュールの設定

・政策部

支部アンケート結果、基本構想に対する申し入れ書を添付すること

以上

c) 役員選考委員会について

次回幹事会にて発表 役員選考名簿は幹事会当日配布することがまりました。

## 2. その他

増強

次回三役会 3/30（火）於 新協印刷会議室 文京幹事会 4/6日（火）於 同友会会議室

文京支部総会 4/9 (金) 於 文京シビックセンター 3階会議室1

西部協議会合同総会 4/26 (月) 於 代々木オリンピック記念センター

文京支部卓球大会 3/5(金) 於 文京区総合体育館 卓球場

出欠一覧

氏名	役職・担当			出欠	氏名	役職・担当			出欠
田川	支部長			○	陳	組織部			
森下	●例会	西部協ゴルフ 障害者委員会		○	越川	●広報部	組織部 教育委員会	経営基礎講 座・ 経営指針一 泊講座	○
機谷	例会	組織部	ランチ の会	○	石渡	広報部			○
山本	例会	広報部 (東京)	女性部	○	佐久間	広報部			○
江口	●政策部			○	新里	広報部			
千田	政策部				小林	●くらしと産 業			
新井	●組織部			○	山縣	幹事・会計			○
奥長	組織部	経営労働委員会 (東京) 憲章推進本部		○	板倉	幹事			
飯塚	組織部	お邪魔しますの会		○	下村	幹事	納涼会担当		
太田	組織部	女性部(東京)			鈴木	幹事			
田中	組織部				川上	幹事			
清水	幹事				真下	幹事	経営理念検討 会		

# 第11回理事会報告

日時 2月9日(火) 午後6時～8時30分

会場 「アルカディア市ヶ谷」

議長 河原副代表理事

出席(敬称略・順不同)湯本 良一(大田)、湯野川 恵美(港)、小暮 恭一(台東)、河原 八洋(豊島)、水戸部 良三(台東)、矢倉 保吏(目黒)、富塚 孝(台東)、池田 大(品川)、木村 志義(文京・代理)、田中基茂(大田・代理)、栗田 美和子(豊島)、山崎 高志(目黒)、宇佐見 弘(渋谷)、藤井 充(台東・代理)、窪田 幸郎(千代田)、中島 秀男(中央区)、石黒 淳(港)、伊能隆男(港)、仲田 喜義(新宿)、田川 晃(文京)、松本 晋一郎(中野)、古仲 裕二(新宿)、高室 純一(目黒)、藤波 昭(世田谷)、鈴木 善彦(大田)、丹野 喜仁(板橋)、佐藤 正巳(練馬)、阿部 敏夫(練馬)、牲川 忠夫(台東)、松林 長年(墨田・代理)、永松 廣子(江東)、小柳 忠章(三多摩)、松林 信介(事務局)、佐々木 喜興(新宿・オブザーバー)以上34名

事務局 林、大西、米田、相田、荻原、岩本

開会あいさつ 湯本代表理事

「私も代表理事としてこれが最後の理事会となります。何ができたのか。皆さんのご協力を持って同友会の地位は高まったと思います。会勢は2100名前後に留まりました。会勢にこだわるのは中小企業の地位向上が同友会の会勢にあるからです。そのためにも活動の積み重ねを総括しながら次の総会に向けて新しいステップが踏めればと思っています。」

## □報告事項

- 1、 会務報告・報告事務局長(1/12理事会以降)……………P1～5
  - 1月入会数13名、1月退会数24名、期首会員数2075名、1月末会員数2076名(プラス1名)、1月委員会・支部行事について報告。2010年度会員名簿が完成し2月中旬には会員に郵送すると報告。
- 2、 各委員会・部からの報告……………P6～13
  - ①経営労働委員会より事務局長が1月27日「新会員ための経営指針成文化入門講座」には18名の新会員の参加で経営指針のさわりの部分を学び交流し充実した内容であったと報告。
  - ②佐々木共同求人委員長が2011共同求人参加企業が32社、ジョブウェイ参加が20社で固まったこと。2010合同入社式は72名、新入社員研修92名の参加となったこと。沖縄部門の活動について報告。
  - ③障害者委員会より木村委員が3月9日に予定している例会「究極のサービスをめざせ！リッツカールトンを超える旅行業界の革命児」(有)ベルテンポ・トラベル・アンドコンサルタンツ社長高萩徳宗氏について準備状況を報告。
  - ④青年部山崎部長より、1月例会は43名の参加で㈱フォスターワン社長坂上志氏から学んだこと。5月にはタラサ志摩スパリゾート㈱の今野社長を講師に大例会を予定、秋には神奈川同友会青年部との合同例会などを予定していると報告。
  - ⑤情産部会藤井氏より商流サロン、今後の企画等活動スケジュールを報告。
  - ⑥田中氏より同友会と都立産技高専による「コミュニティカレッジ」がスタートし、昨年12月には第1講義が開催されたこと、今後は2月に第2講義、3月に第3講義が開催されると報告。
- 3、 東京信用保証協会との第9回目の懇談会の報告
 

水戸部副代表理事が2009年12月16日に行われた東京信用保証協会との懇談会の議事録を報告しました。この議事録は同友会と協会との間で確認をされたもので同友会のH・Pを通じて公開されます。
- 4、 新年賀詞交歓会の報告
 

伊能理事・都心協議長が1月19日に開催された新年賀詞交歓会について報告しました。新年会に先立って行われた「古希を祝う会」にはお祝いを受ける方16名、お祝いする方合わせて58名、新会員オリエンテーションには57名が参加しました。賀詞交歓会は218名の参加で、朝

日新聞 中島氏、(株)浜野製作所 浜野社長のセッションは厳しい中小企業の維持・発展に対する経営者の覚悟を迫るもので大変確信が持てる内容であったと報告しました。

□承認事項……………P18～21

- 1、1月の入会者の承認 13名 議長より提案され拍手で承認しました。
- 2、チームキタヤマの後援名義使用について 事務局長より経過及び後援の要請について報告を受け「東京同友会后援劇団」としたいと提案され拍手で承認しました。
- 3、就労支援アドバイザーの推薦について 障害者委員会木村氏より「都立特別支援(養護学校)の就労を支援するアドバイザーになっていただけないかと要望がきており、われわれ委員会を選定させていただいて推薦させていただきたい。今まで就労支援は福祉の方々が行っていたが、限界があり民間企業への委託が増えている。行政も同友会に対する信頼も厚くなっており東京の教育長からも依頼が来ている。これにお応えをしていきたい。ご協力をお願いしたい。」と説明し拍手で承認しました。

□議題

1、第57回定時総会の準備に関して……………P22 別紙資料

1) 総会の参加目標と参加状況 小暮副代表理事・総会企画運営委員長より、本日企画委員会を開催しプログラムを固めたこと。理事会で依頼をしてきた参加目標は300名だがまだまだ程遠いので参加依頼をお願いしたいこと。とくに、講演は目玉でありお声がけをお願いしたいこと。また、記録・グループ長の選出をお願いしたいこと。など総会成功のために積極的な協力をお願いしたいと報告がありました。

2) 総会提案諸議案(第2次案)の審議について

湯本代表理事・議案起草委員長が前回理事会以降の議案審議の状況を報告し、まとめ及び情勢案、重点活動方針案のポイントを説明しました。事務局長が補足し、活動方針の追加意見や提案など具体的な変更点について説明しました。

- ①2009 年度活動のまとめ案
- ②中小企業を取り巻く情勢案
- ③2010 年度重点活動方針案
- ④2009 年度決算・2010 年度予算案
- ⑤2010 機構図

討議では、

- ・文京支部で討論した。全般的にはよい。来期の支部方針でも同じ4つ柱にしたい。第1の柱の経営指針の確立とを実践し新しいネットワーク。指針とネットワークの意味あいはどうか。中小企業憲章で東京都の振興条例の方針が出ていないが。準会員制度を本来の後継者育成のために活用する必要があるのではないか。情勢認識の統一は大変重要で、もう少しはっきりしたほうがよい。いき過ぎた市場主義など。
- ・人口と企業数の資料37ページの年の記載がない。企業統計は平成18年ではないか。
- ・指針はつくることではなくて社内に浸透させること。実践の上で、新しい仕事づくりになればいい。東京都は独自の振興政策政策があるからということで現状では難しい。
- ・先に国が「中小企業憲章」を作るので、あと付けで作るよう要望したい。今は外堀を埋めていくこと。最後につくるのであればわれわれ主導でつくっていききたい。
- ・情勢については理事会ですべて一致は難しいと思う。小異を捨てて大同についていただきたい。
- ・情勢分析はよい。しかし、方針では反映されていない。よく幹事会で話になる。共同求人は今まで企業も多く、ソフトの会社が多く出向の方が帰ってきて雇用調整助成金でやっている。内需・外需はあるが、具体的に政策をどう打ち出すかがない。単純に仕事作りをするのかはあるが、財政のプライマリーバランスをとっても難しい。
- ・仕事作りの切り口。仕事が減っている現状にどう発信していくのか。
- ・情報化プロジェクトではアンケート機能を活用し、政権が変わって生の声が届くようにしていく。それには間のびしてはだめ。そのシステムが確立されているので、大いに活用し生の声として政権を動かし、仕事作りにつながる。それを収集して伝達できるのでアンケ

一ト機能を最大限活用していただきたい。

- ・私も次の仕事で悩んでいる。そこで経営指針作りが大事。ここも展示を見てきたが、東京が地方とのネットワークを作っていかなければならない。地方から出てきている会員が多くいる。地方との連携がこれから重要。自分は青森の会員とつながりを持っていく。
- ・かつては住宅産業など具体的な政策があったが、いまは要求がまとまらない。
- ・同友会の活動の方針の中で新しい具体的なものを謳うのは難しい、理念でいいのではないか。
- ・同友会の中では自社の強みなどを直接話し合っている場がない。自社の強みを突き詰めて話していく必要がある。実際の仕事は泥くささの中にある。この泥くさは自分自身への問いかけ。どのようなマーケットが自分たちに適しているのを見つけられないのではないか。

以上の討論を踏まえ、議長は出された意見については極力議案に反映させていくとともに、2月15日までに意見があれば寄せていただきたいとまとめました。また、2010機構図は承認しました。

### 3) 2009決算・2010予算案について

池田理事・財務部長が提案しました。討議では貸借対照表の中の組織協化基金や育英資金についての質問が出されました。組織強化基金は事務所移転や周年行事などのための積み立て、また、育英資金は小暮副代表理事が共同求人活動の中で、学生の育英のための資金として積み立ててきたものと説明をしました。以上決算・予算案を了承し、総会へ提案することを了承しました。

### 4) 2010年度役員推薦名簿の提案

阿部役員選考委員長が、役員選考委員会を通して推薦が出された2010年度理事推薦名簿(55名)が提案されました。提案された名簿のうち、教育委員会、文京支部、板橋支部担当の理事については調整中であると報告しました。以上定時総会への推薦名簿として承認しました。

### 5) 総会決議案の骨子提案

水戸部副代表理事が「変革が求められる日本経済、中小企業が出番の時 今こそ中小企業憲章制定を」と題した決議案骨子を提案しました。提案された項目について多くの意見・提案が出されました。その結果、2月15日の政策部で練り直し成文化した案について理事に送り意見を募りまとめ上げていくことを了承しました。

## 2、「中小企業憲章」制定をめぐるこの間の動きについて……………P23～33

水戸部副代表理事がこの間の政府レベルでの中小企業憲章制定に関わる動きを報告しました。とくに、2010年2月3日経済産業省本館において「第1回中小企業憲章に関する研究会」が行われ、直嶋経済産業大臣をはじめ、横浜国立大学の三井先生、立教大学の山口先生、中山総理大臣補佐官、長谷川中小企業庁長官などが出席し「中小企業憲章」に盛り込むべき内容、「中小企業憲章」の性格など、現行の中小企業基本法、民主党「日本国中小企業憲章(案)」、EUの「欧州小企業憲章」などを参考に「憲章」の骨格を成す討論が活発に行われたことを報告しました。研究会は3月までに各種団体・機関などの意見聴取を行い5月をメドに「中小企業憲章草案」を発表する予定であると報告しました。2月7日に行われる中山総理大臣補佐官を招いたシンポジウムは100名定員のところ80名を超える参加があり、申込みを急いでほしいと要請しました。

## 3、第40回中小企業問題全国研究集会について……………P34～35

河原副代表理事が東京は目標40名を超え41名となり、全体も1700名を超える規模となったと報告、東京が担当している第15分科会のリハーサルの様子も報告しました。

## 4、その他……………P36～37

1) 第4回支部長会議のご案内 矢倉理事・組織部長が報告しました。

2) 第18回東京経営研究集会実行委員会のご案内 古仲理事・西部協議会議長が2月26日に開催される第1回実行委員会の開催案内、各支部から実行委員2名、記念講演の講師など

ご推薦いただきたいと訴えました。また実行委員長には西部協議会として宇佐見理事を推薦すると報告しました。

- 3) 栗田理事・女性部長が2月19日～20日に行われる「小出宗昭氏と行く優良企業訪問ツアー」の内容を訴え参加を募集しました
- 4) 窪田理事・教育委員が2月13日に行われる同友会大学の内容を紹介しました。。



# 第18回東京経営研究集会 第一回実行委員会報告 (案)

2010年 2月26日(金)於 東京同友会 司会 中澤(杉並支部)

千代田、中央、港、新宿、渋谷、文京、中野、杉並、目黒、大田、品川、北、板橋、豊島、練馬、台東、足立、荒川、江戸川、葛飾、墨田、江東、三多摩、女性部、青年部、障害者委員会  
経営労働委員会 エコ委員会 欠席 世田谷 参加32名(事務局含む)

1 設営担当協議会より実行委員の皆様へ御礼の挨拶 古仲 西部協議会議長

2 実行委員長選出 渋谷支部 宇佐見 弘氏(株セーフティ&ベル)が就任

副実行委員長については次回 実行委員長より組閣案が提案されます

3 西部協議会作成の開催骨子提案 実行委員会承認(骨子概要は下記)

① 会の名称:第18回東京経営研究集会 経営体験を中心にシンプルなスタイルで開催

② 開催日時:10月6日(水)秋の増強月間を活気づけるため10月初旬の開催とします。

③ 開催会場:国立オリンピック記念青少年総合センター(代々木公園そば)

④開催規模 各支部の負担を少なく400名をペイラインに最大750名まで収容可とします

⑤参加費 5000円程度(参加しやすい料金設定を目指します)

⑥タイムスケジュール

10:00~12:00 設営(実行委員や座長・室長・報告者は現地昼食)

12:00 開場 受付開始 13:00~16:50 分科会

16:50~17:00 会場撤収 17:00~17:30 休憩と全体会会場への移動

17:30~19:30 全体会・記念講演 19:30~19:45 移動

19:45~21:00 懇親会

⑦ 分科会:参加の分散を防ぐため10分科会とする。各協議会単位で一つずつ 計5 に加えて委員会関係で5つの 計10分科会。経営研究集会の原点に立ち会員の経営体験報告を中心に

⑧ 記念講演 大ホール(758名収容)で開催

⑨ 懇親会はレストランキにて250名収容 参加費3500円予定

⑩ 実行委員会 支部・委員会行事との重複を避けて毎月 最終の金曜日を開催日とする

基本日程 3・26 4・23 5・28 6・25 7・30 8・27 9・24

4 メイン討議事項 大会スローガン

「ピンチはチャンス！打つ手は無限！われらは日本の元気の牽引役」

5 分科会の担当分担:各組織は次回までに分科会企画案をする。

都心協議会 東部協議会 西部協議会 南部協議会 北部協議会

政策部 経営労働委員会 障害者委員会 エコ委員会 ※青年部検討中

6 記念講演については次回までに実行委員が講師候補を持ち寄る。

第18回東京経営研究集会にむけて(実行委員会論議をもとに)

「ピンチはチャンス！打つ手は無限！われらは日本の元気の牽引役」

時代の潮目が今、大きく変わりつつあります。世界経済の勢力図は大きく塗り変わり、新興国との新たな関係が模索されています。また、国内の内需を中小企業が掘り起こし、仕事と雇用をうみだしていく「市場創造」という大きなテーマが我々、中小企業に突きつけられています。

この厳しい時代に私達は日本経済の主役として、日本の元気の牽引役としての役割を果たしていかなくてはなりません。そして、そのために、私達は本物の製品やサービス、組織を生み出し社会やお客様から必要とされる「存在意義のある会社」を目指していかなくてはなりません。同友会の知恵と経験の結集した東京経営研究集会の「学び」がその機会となれば幸いです。

第18回東京経営研究集会 実行委員長 宇佐見 弘

# 東京中小企業家同友会西部協議会総会企画書(案)

開催日 日時 4月26日(月)

会場 オリピック記念青少年総合センター(参宮橋駅徒歩3分)

14:30 事務局員到着 総会会場4部屋の設営

17:00 各支部の役員 支部総会の各部屋に集合

- ※ 事務局は小ホールの設営と受付準備へカルチャー棟へ
- ※ 支部総会の受付や進行は各支部幹事で行う
- ※ 参加費の生じる受付は小ホール前にて総会終了後に行う

17:30~18:15 支部総会

各支部総会はセンター棟の各部屋にて

- 新宿支部号室 ○ 渋谷支部号室
- 中野支部号室 ○ 杉並支部号室

※18:15分前には総会を終了し会場を現状復帰とカギの返却をして全体会場へ各支部の役員は参加者を誘導する。(センター棟からカルチャー棟へ移動)

※小ホールで必要な人員 受付( )( )( )( )

ホール担当(事務局 林と小池) 司会( )講師接遇( )( )

18:30~18:50 西部協総会

※西部協総会議事は簡潔を心がけ時間厳守で修了する

※記念講演受付は18:30より

19:00~20:00 記念講演

※ 講師の時間が限られているので司会が簡単に講師を呼び出してスタートする

※ 懇親会会場も時間がかざられているので講演終了後はそのままパーティへ

※ 会場撤収は事務局が行い

20:10~21:15 懇親会(カルチャー棟 2階 カフェテリア トキ

役割分担 司会( )カンパイ( )中じめ( )

パーティ会場は終了時間厳守

参加費 西部協支部の会員の方は記念講演無料他支部の方や社員の方は記念講演2000円

懇親会は別途3000円いただきます。参加には事前申し込みが必要です。当日申し込みはできません。

# 東京中小企業家同友会第四回支部長会報告

2010年 2月23日 於 東京中小企業家同友会

参加23名 出席支部(中央、港、新宿、中野、目黒、世田谷、品川、大田北、板橋、豊島、練馬、台東、足立、荒川、江戸川、墨田、江東、町田)  
欠席支部(千代田、渋谷、文京、杉並、葛飾、三多摩)

1 開会挨拶 矢倉組織部長

2 報告事項

- ① 会員数の最新データと会員増強について:東京総会をぜひ!増勢で迎えましょう!
- ② 中小企業憲章パンフレットのPRと頒布のお願い。
- ③ 2月26日に 第18回経営研究集会第一回実行委員会キックオフ
- ④ 2010年5月14~15日 支部長一泊研修 会場は都内にて計画。  
毎年恒例の支部ビジョンの作成を今年も実施。

3 主要テーマ 2010年の東京同友会総会方針を支部方針に活かす。

2010年 東京同友会総会方針のポイントを報告

○ 報告を受けて来期の支部方針をテーマにグループ討論

討論報告

Aグループ 中野支部 森谷氏

例会でホンネを引き出す事の難しさをどう越えていくか。不景気はどうにもならないが明るく前向きな話題を出し合う事、若手経営者をベテラン経営者が寛容に育てる事が大切  
同友会にすれば答えがある そう感じられる支部をつくる事が大事ではないか?

Bグループ 品川支部 角田氏

支部長の仕事は本人が動くのではなく幹事会のメンバーが積極的に動くように工夫すること  
幹事会の参加率を高める事が大切。また労壮青の年齢的バランスも大切。支部長の元気は何より大切。とにかく他支部との活動交流は積極的に行うべきである。  
同友会全体は増強予算を厚くして広報支援をしっかりと欲しい。

Cグループ 港支部 石黒氏

最近の傾向として退会理由として経費節減が目立つようになった。それと若手二代目の入会が目立ってきた。親と同じ支部では活動がやりづらい面もあるので支部間で配慮を期待したい  
増強のためには会の認知度のUPが不可欠 ホームページのリンクのような細かな努力や大きく予算をとっての対外広報の展開が求められる。

Dグループ 台東支部 牲川氏

幹事会の活性化に始まり、支部会員の魅力的な経営体験の例会、それにつける。経営体験の報告は報告者の励みにもなる。合同例会は活性化の効果が高い。中小企業憲章には積極的に声をあげていこう。

まとめ 小泉 副代表理事(組織担当)

今年、矢倉組織部長とともに任期を終えるが4年間は支部ビジョンや例会マニュアルなど皆様の御協力により大きな前進があった。今後とも支部長会の活性化に期待。「同友会に来る事が楽しい」と役員本人や会員が感じることから活性化は始まる。それぞれの支部の個性や文化を活かしてアプローチして欲しい。4年間、本当にありがとうございました。